

医学系大学産学連携ネットワーク協議会 (medU-net) ~平成25年度活動報告~

medU-net について

<u>medU-netとは:</u>

医療イノベーションの加速に向け産学連携機能の強化・活性化に取組む アカデミア連合

○理念

医学系大学産学連携機能の強化及び 活性化を通じ医療の発展に資すること

○背景

他分野の産学連携とは異なる特殊な事情・難しさが存在するため、医学系アカデミアの力が医療イノベーション・医療産業に充分活かされていない

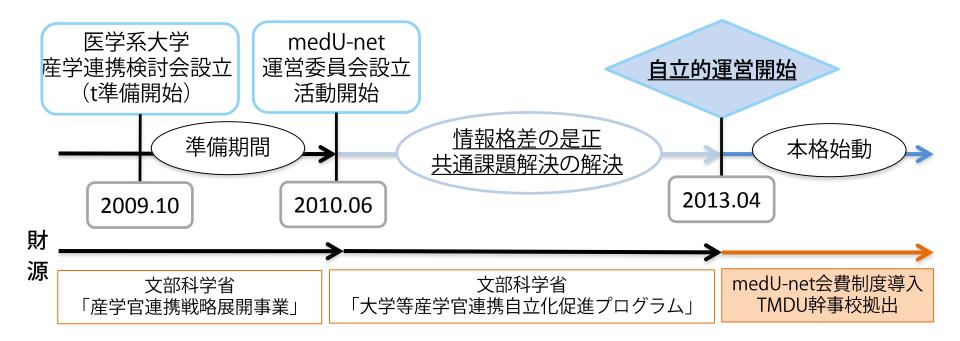
○<u>medU-netの2つの機能</u>

- ・医療系アカデミア産学連携標準化機能
- ・ 医療系アカデミア発政策提言機能
- ○<u>協力</u>:行政(文科省・経産省・厚労省・内閣官房)・業界団体・産業界・有識者

medU-net ヒストリー

医療系の産学連携活動における行き詰まり

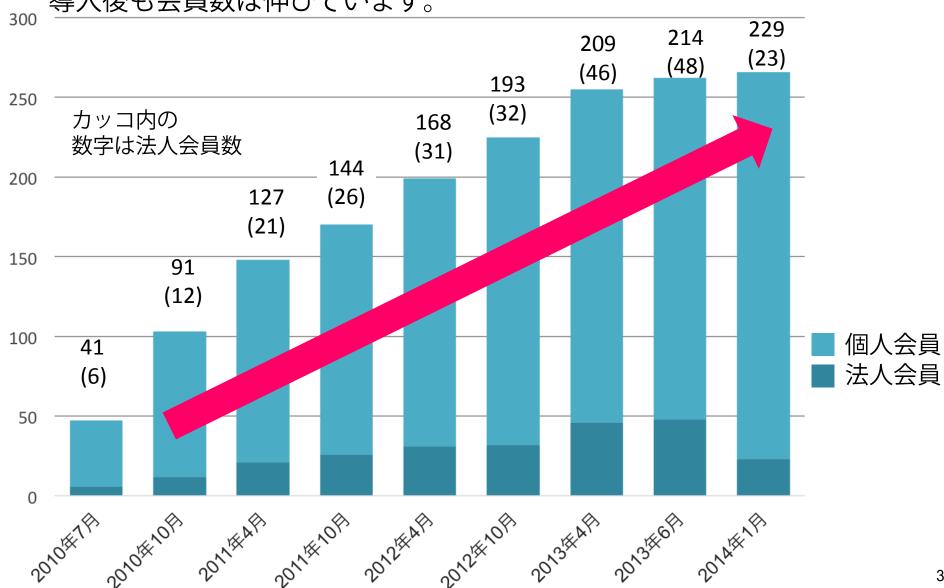
- ⇒課題を共有できる産学連携実務者・専門家による連携が求められていた
- ◎ 2009年10月「医学系産学連携検討会」でネットワーク組織の検討・準備
- ◎ 2010年6月「medU-net」設立



2013年度に会員機関による協働体制を強化、実務のフォローから政策提言まで、医学系産学連携活動の健全な発展に向けた活動を一層活発化。

medU-net 会員数推移

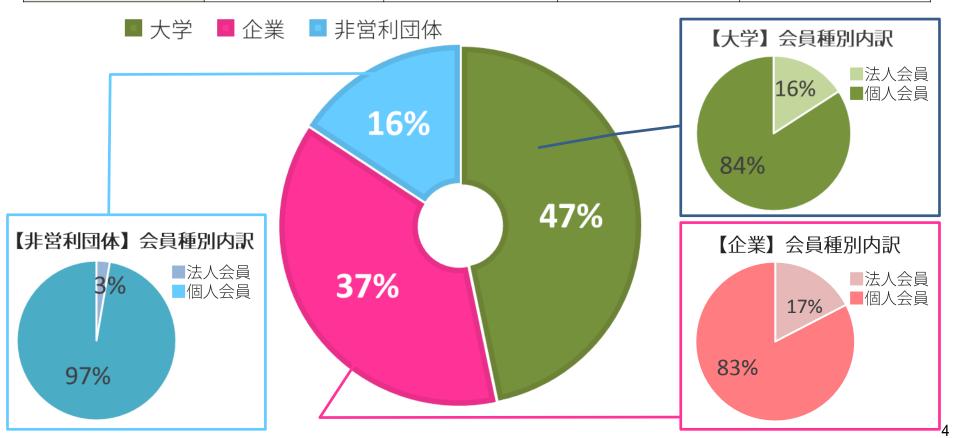
2010年6月の設立より会員数は毎年増加しており、2013年4月の会費制導入後も会員数は伸びています。



medU-net 会員数推移

<u>会員総数:229名(2013年1月1日時点)</u>

	大学	企業	非営利団体	計
会員数	107	86	36	229
機関数	61	78	26	165
法人会員	17	5	1	23



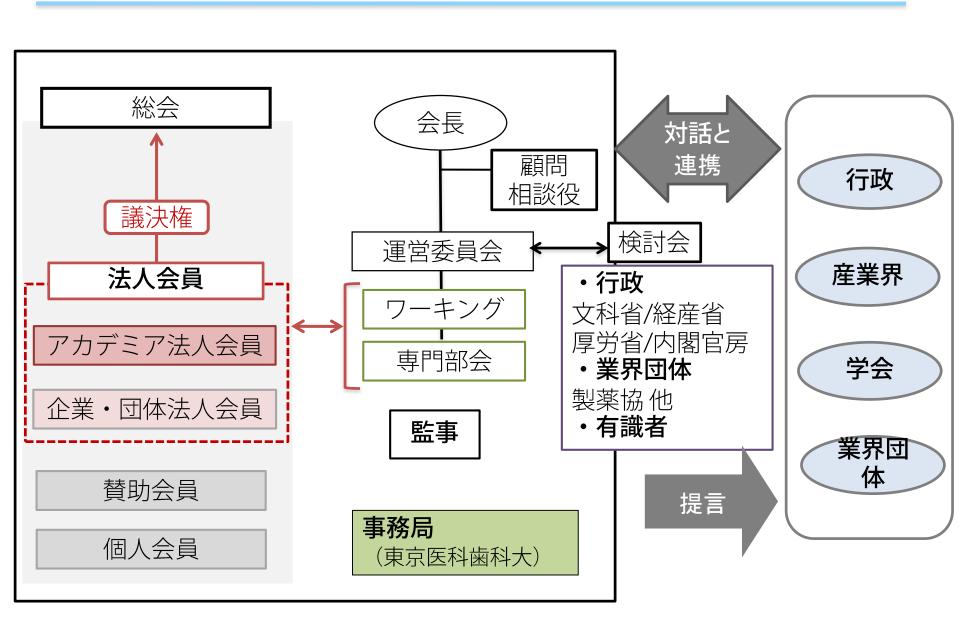
medU-net 法人会員

NO.	大学名
1	川崎医科大学
2	産業医科大学
3	埼玉医科大学
4	公益財団法人東京都医学総合研究所
5	国立がん研究センター
6	独立行政法人国立精神・神経医療研究センター
7	国立大学法人岐阜大学
8	信州大学
9	東海大学
10	宮崎大学
11	東京医科歯科大学
12	札幌医科大学
13	自治医科大学
14	公立大学法人福島県立医科大学
15	国立大学法人富山大学
16	国立大学法人三重大学
17	静岡県立大学

26機関 (来年度見込 32機関)

アカデミア法人会員 17機関 企業会員 6機関

medU-net 新組織図



medU-net 運営ボードメンバー

会長

森田育男 (東京医科歯科大学 理事・副学長・研究産学連携推進機構長)

特別顧問

成宮 周 (京都大学大学院 医学研究科 教授)

珠玖 洋 (三重大学大学院 医学系研究科 教授)

眞峯隆義 (東京医科歯科大学 リサーチユニバーシティ推進担当・副学長)

相談役

運営委員

山嵜健二(東京女子医科大学大学院教授)

羽鳥賢一 (慶應義塾大学大学院 理工学研究科 特任教授)

窪田 艮 (Acucela Inc 代表取締役会長・社長兼CEO)

隅蔵康一 (政策研究大学院大学研究政策科准教授)

菅原 桂 (ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング 研究開発部長)

稲場 均 (東京医科歯科大学 客員教授) 竹岡八重子 (光和総合法律事務所 弁護士)

石埜正穂 (札幌医科大学 医学部 教授) *委員長

西村訓弘 (三重大学 副学長·大学院 医学系研究科教授)

内海 潤 (がん研究会研究本部 知財戦略担当部長)

水谷修紀 (東京医科歯科大学副学長・産学連携推進本部長)

進藤秀夫 (東北大学 産学連携担当理事)

監事 | 塩谷克

塩谷克彦 (東北大学 産学連携推進本部知的財産部長・特任教授)

7

medU-net 新会員制度

2013年度に新たな会員制度(会費制導入含む)へ転換致しました。

medU-netは、自立した運営を目指し、2013年4月より法人会員の会費制を導入する。会費制導入を契機として、 約3年間の活動実績を基盤とした会員特典の強化を行う。今後も引き続き、新特典の開始など特典を充実させる ことにより「医学系大学産学連携機能の強化及び活性化を通じ医療の発展」への更なる貢献を目指します。

法人会員≪1機関10万円/年≫

アカデミア法人会員

medU-netの活動趣旨に賛同し、 運営への直接的な関与を希望する 大学・公的研究機関

企業・団体法人会員

medU-netの活動趣旨に賛同し、 会合への参加及び機能の利用を 希望する企業・団体等機関

賛助会員≪1口50万円/年≫

medU-netの活動に賛助を希望する企業

個人会員≪年会費無料≫

medU-netの活動趣旨に賛同する個人

medU-net 会員特典 (新制度)

会員種別	入会資格	特典
法人会員	アカデミア 企業	会員メーリングリストを使用した各種情報発信 各種イベント参加(機関1名参加費無料) 年に一度開催されるmedU-net総会における議決権 国際展示会等イベントへ共同出展(アカデミア法人会員)
個人会員	個人	各種イベント参加(有料) 実務者会議オブザーバー参加権
賛助会員	限定なし	medU-net主催シンポジウムでの広告掲載 ワークショップの開催権(有料)

共通特典

- ◆ 全国の医学系産学連携関係者との交流の機会獲得
- ◆ medU-netが発信する有益な情報やイベント情報の受信
- ◆ medU-net主催のイベントへの優先的な参加
- ◆ medU-net主催の医学系産学連携に関する課題解決に向けた取組みへの参加 ※実務者会議(ワーキンググループ、テーマ別ワークショップ等)
- ◆ medU-netから出す政策提言への皆様からの意見集約 など

medU-net 目的と手段

アカデミア標準化機能

アカデミア発政策提言機能

目的

経験・人材・機能の共有 ⇒ 全体レベルの向上へ <u>アカデミア共通意見の集約</u>
⇒ 環境改善へ(提言等)

手段

- *経験の共有
 - ○有益情報の集約・発信(HP)
 - ○ケーススタディワーキング
- *人材の共有
 - ○産学連携専門家
 - ○人材共有システム試験的実施
- *機能の共有
 - ○国際展示会等共同出展 BioJAPAN2013(10大学15シーズ)

- *ワーキング他
 - ○知財管理WG
 - ○事業推進WG(みずほ銀行)
 - ○各界との対話
- *アカデミア共通認識・意見の集約
- *検討会の開催

効果

ネットワーク力駆使により全体レベル向上と医療イノベーション推進の

共通課題解決 ~medU-netケーススタディーワーキング*~

アカデミア機関所属の会員を対象とした実務意見交換会を開催

意見交換を通じた効果

- ◆ 情報共有によって各大学が抱えている実務上の課題を解決
- ◆ 他機関の取組み・状況を自機関の取組みに活用

平成25年度第1回 (2013年10月24日開催)

テーマ

知財評価・活用タスクフォース 研究とレギュラトリーサイエンス 平成25年度第2回 (2014年2月10日開催)

テーマ

産学共同発明の取り扱いについて

医学研究利益相反マネジメント

*今年度より名称を「テーマ別意見交換会」から「medU-netケーススタディーワーキング」に変更

共通課題解決 ~ワーキンググループ活動~

医学系知財管理WG

医学系アカデミアにおけるライセンス管理の検討(H24)

- ◆ ライセンス管理の論点・トラブル等の事例とその解決手段
- ◆ 契約各条項のポイントと留意点について検討 報告書:ライセンス契約の考え方・各条項の考え方

医学系アカデミアにおける知財管理の検討(H25)

- ◆ 共同出願の費用負担や独占補償・大学の知財管理体制
- ◆ 研究者移動時の知財の扱い・大学の研究情報の管理

共通課題解決

~ワーキンググループ活動~

事業推進WG

「medU-net専属TLO」構想

◆ 医療系アカデミアの産学連携を支援し、個別のプロジェクトを プロデュースする中立的なTLO組織の検討

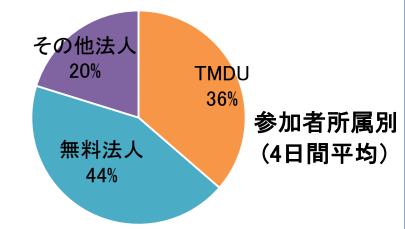
医療現場ニーズ発 地域産業活性化プラン

◆ 医療産業への新規参入、医療福祉への貢献を目指す企業と 医療系アカデミアを結びつけるプランの提案

各種リソースの共有 〜教育の場の共有〜

参加者

申込 全32名					
参加人数	1日目	2日目	3日目	4日目	4日間 平均
参加人数	27	23	24	25	<u>24.8</u>
<u>参加率</u>	84%	72%	75%	78%	<u>77%</u>
T M D U	9	8	10	9	<u>9</u>
無料法人	12	9	11	11	<u>10.8</u>
その他法人	6	6	3	5	<u>5</u>



産学連携実務のためのバイオ入門講座

バイオを基礎知識から習得したい方を対象に、これまで体系的に 学んでこなかった「バイオ」について基礎的知識から学ぶための入 門講座を開催いたします。

内容•日時

第1回 2013年7月11日(木) 13:00~16:15 生命科学の基礎 A「ゲノムから細胞へ」

第2回 2013年7月12日(金) 9:00~12:15 生命科学の基礎 B「細胞から組織・臓器・個体へ」

第3回 2013年7月25日(木) 13:00~16:15 生命科学の応用課題としての医療 A「免疫を知る。疾患を考える」

第4回 2013年7月26日(金) 9:00~12:15 生命科学の応用課題としての医療 B「薬づくりから次世代医療への道を探る」

講師

財団法人 京都高度技術研究所 産学連携事業部 医工業産学公連携支援グループ プロジェクトディレクター 谷田 清一 氏

会 場

東京医科歯科大学 M&Dタワー 21階 大学院講義室1 アクセス地図 http://www.tmd.ac.ip/tlo/medU-net/pdf/map.md 21 room1.pdf

定員

40人(先着順)

受講料

medU-net法人会員:1機関1名まで無料、2人目からは下記個人会員料金適用 medU-net個人会員:各回1万円、全4回参加の場合3万円

申込方法

下記URLから、講義参加に関する注意をご一読の上、お申込み下さい。 参加される最初の講義へ来場した際に請求書をお渡しいたします。 請求書にしたがって期日までのご入金をお願い致します。

https://zz104.secure.ne.ip/~zz104015/Forms/seminar2/form.cgi

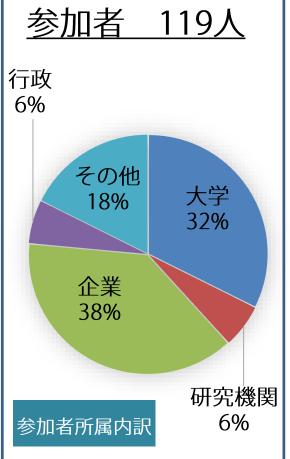
問合先

医学系大学産学連携ネットワーク協議会(med<mark>U-net)</mark> 東京医科歯科大学 産学連携推進本部内 事務局 川上 TEL:03-5803-4740 ☑ medu-net@tmd.ac.jp ← http://www.medu-net.jp/

各種リソースの共有 〜教育の場の共有〜

レギュラトリーサイエンス研修開講記念特別講演 第一三共株式会社 代表取締役会長 庄田隆様





各種リソースの共有 ~教育の場の共有~

「アカデミア発医薬品・医療機器のため のレギュラトリーサイエンスセミナー」

- ・アカデミアにおいてもレギュラトリーサイエンスを加味した研究活動を推進 するため、厚生労働省・PMDAから講師を招き開催
- ・アカデミアほか企業・行政の参加者にも好評を博す(来年度開催要望多数)
- ・RSの重要性に鑑み、今後も引き続き継続して開催予定

アカデミア発医薬品・医療機器のための medU-net主催 レギュラトリーサイエンス(全5回)

[受講料]

- ★人会員:1機関1名まで無料、2人目からは個人会員料金適用
- 個人会員:各回1万円、全5回申込で3万円

定員:40人(先着順)

各回 18:30~20:00



医学系大学産学連携ネットワーク協議会 (medU-net) では 本年度4月より会費制を導入し、会員特典を更に充実させ、自 立的な活動を開始しました。

そこで、medU-net会員特典として「アカデミア発医薬品・医療 機器のためのレギュラトリーサイエンス」研修の講座を開設します。

医薬品・医療機器の開発と製品化には、薬事法を含むレギュラト リーサイエンス(RS)の知識と実践が必須です。RS戦略があってこ そ、効率的な産学連携が推進すると言っても過言ではありません。 しかしながらアカデミアでは、RS機能の整備は、ようやく認識され 始めたというのが事実です。

このような背景から、medU-net では、厚生労働省並びに独立 行政法人 医薬品医療機器総合機構の全面的なご協力を得て

標記の日程で研修を行います。 皆様の結核的なご参加を心よりお待ちしております。 「再生医療や医療機器関係等政府の成長戦略」 講師:厚生労働省 医政局 研究開発振興課

第2回 2013年11月26日(火) 「審査全体の枠組みと薬事法」(改正部分を中心に) 講師:厚生労働省 医菜食品局 審査管理課 医琼機器審査管理室

第3回 2013年12月26日(木) 「医薬品・医療機器の安全対策の概説 講師:(独)医薬品医療機器総合機構 安全第一部 部長 滾邊 伸一 氏

第4回 2014年1月8日 (水) 医療機器審査の概説」 講師:(独)医薬品医療機器総合機構 医療機器審査 第二部 部長 鈴木 由香 氏

第5回 2014年2月10日(月) 「医薬品審査の根拠」 講師:(独)医薬品医療機器総合機構 新菜審査 第一部長 宇津 忍 氏



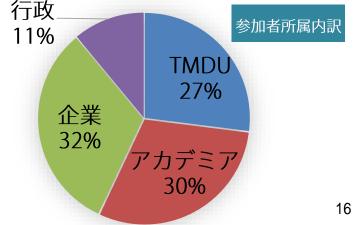
https://zz104.secure.ne.jp/~zz104015/Forms/seminar/form.cgl 講義参加に関する注意をご一読の上、お申込み下さい。

参加される最初の講義へ来場した際に請求書をお渡しいたします。 請求書にしたがって期日までのご入金をお願い致します。

医学系大学産学連携ネットワーク協議会(medU-net) 東京医科歯科大学 産学連携推進本部内 事務局 川上

medU-net TEL: 03-5803-4740 medu-net thribtend as in http://www.medu-net.in/

参加 人数	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目
参加人数	34	33	36	33	35
<u>参加率</u>	100%	94%	91%	87%	97%
T M D U	11	10	10	9	7
アカデミア	10	10	10	10	10
企業	9	10	12	10	14
行 政	4	3	4	4	4



各種リソースの共有 ~HPによる情報の共有~



今年度追加された新機能

- ・法人会員:セミナー、公募情報、求人情報等が掲載可能に
- ・本年5月より会員情報の登録・検索システムを増強
 - →会員専用ページで各機関の産学連携窓口情報が入手可能に

各種リソースの共有 ~medU-net通信による情報の共有~

医学系産学連携の情報集積拠点として、会員に情報を発信します

情報発信は法人会員向けサービスです(情報受信は個人会員も可能です)

情報発信者 配信可能情報(例)



企業法人会員



アカデミア法人会員



研究公募情報 求人情報



セミナー情報 求職情報



イベント情報 (主催・共催)



medU-net通信

情報取得者

| 企業法人会員 |















個人会員

medU-net medU-net

事務局

平成25年度は <u>57通</u> のmedU-net通信を配信しました

政策策定と提言活動 ~medU-net医学系産学連携検討会~

検討会は、産学官の関係者が情報交換を行い、新たな政策構築 に向けて議論する場です

行政

(課長、課長補佐)

1/ トンイ++/ト-
科学技術・学術政策局 産業連携・地域支援課
産業技術環境局 大学連携推進課
経済産業政策室 知的財産政策室
製造産業局 生物化学産業課
関東経済産業局 地域経済部 地域振興課
商務情報政策局 ヘルスケア産業課
医政局 研究開発振興課
総務部企画調査課
· // //-

機関/部署・役職

日本製薬工業協会 知的財産部

日本製薬工業協会 研究開発部

光和総合法律事務所 弁護士

アカデミア

medU-net運営ボード 会長、運営委員長、運営委員、相談役

- ◎医学系産学連携におけるアカデミアの課題や現状を、行政・産業界に情報提供
- ◎行政より新しい政策情報や公募情報を得て、アカデミア法人会員に情報提供

次年度計画

産学連携実務のための バイオ入門講座

今年度大変好評だった、 バイオを基礎知識から 習得したい方を対象に開催した 「バイオ入門講座」を 来年度も開催いたします。 アカデミア発医薬品医療品 のための レギュラトリーサイエンス研修



厚生労働省ならびに PMDAのご協力を得て 来年度も引き続き 開催いたします。

Bio Japan2014 medU-net共同出展

単独では出展が困難な大学を 取り纏め、共同出展を実現し 相乗効果を図ります



<u>H25年度は</u> <u>11機関で出展</u>

契約実務講習会

多くの産学連携従事者が抱える ライセンス契約における 実務上の問題点・対処法に関する 講習会をおこないます。

medU-net HPの充実化

- ・ 会員専用機能の充実化
- ・セミナー動画閲覧機能
- イベント掲載フォーム
- ・公募等掲載フォーム
- ・産学連携有益情報共有ページ

